

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスについては、企業活動が、健全な経営方針に基づき健全な議論を経て意思決定が行われること、及び経営の透明性とアカウンタビリティが確保されることが、重要なことと考えています。

当社では経営の基本方針として「5つの心得」を掲げており、株主の皆様・お取引先・地域社会・国際社会・従業員のそれぞれが、当社のステークホルダー(利害関係者)であることを大前提とする経営を行ってきました。株主価値の向上についても「株主の皆様のご期待に応えなければならない」と明言し、積極的に取り組んでいますが、長期的な視点で株主価値向上を見た場合、社会を含む当社ステークホルダーとの高いレベルでの調和が欠かせないと考えています。

健全な議論による意思決定を行うため、また企業価値の向上のため、取締役員数についても従来の25名から10名体制に

することで、本質的な議論の活発化や迅速で戦略性の高い経営の意思決定を行う機能を高めています。さらに執行役員制を導入し、経営・監督機能と業務執行機能の役割を明確にし、組織の俊敏性を高め、マーケットへの対応力と実行力の向上に努めています。

また、EVA経営システムの導入により、事業の選択と集中や経営資源の適正配分などの判断を、より戦略的かつ積極的に迅速性をもって行える体制を構築するとともに、取締役及び執行役員の賞与が連結EVAに連動する報酬制度を採用しています。

経営の透明性とアカウンタビリティの向上については、取締役10名中2名を社外取締役、監査役4名中2名を社外監査役とするとともに、IR活動の積極化、ウェブサイトの充実などに取り組んでいます。

5つの心得

- 従業員が誇りを持てる会社でなければならない
- お客様の信頼を得なければならない
- 株主の皆様のご期待に応えなければならない
- 地域社会に歓迎されなければならない
- 国際社会の発展に貢献しなければならない

経営体制

